

厚真町斜面災害

9月6日 早朝、北海道庁より土木研究所に派遣要請

北海道開発局(厚真町)より災害派遣要請(土砂災害)Tec-Force

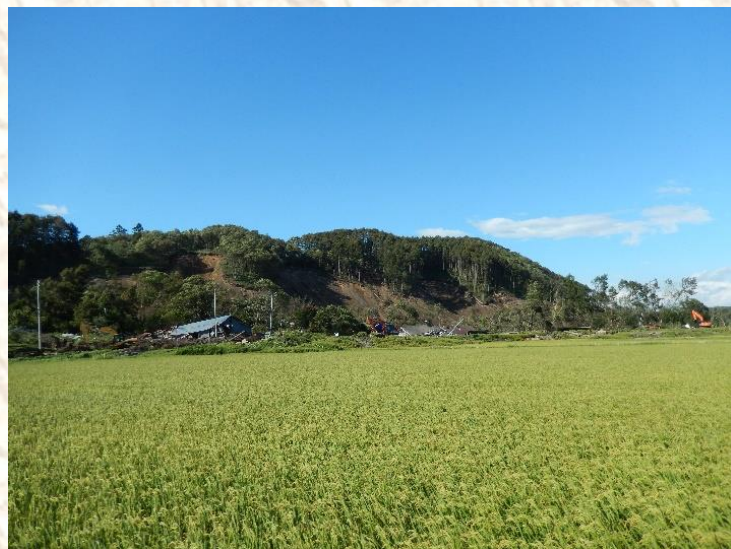
7:26 防災地質チーム倉橋上席研究員、寒地機械チーム研究員の2名を厚真町に派遣。

厚真町で局リエゾンと合流後、現地調査

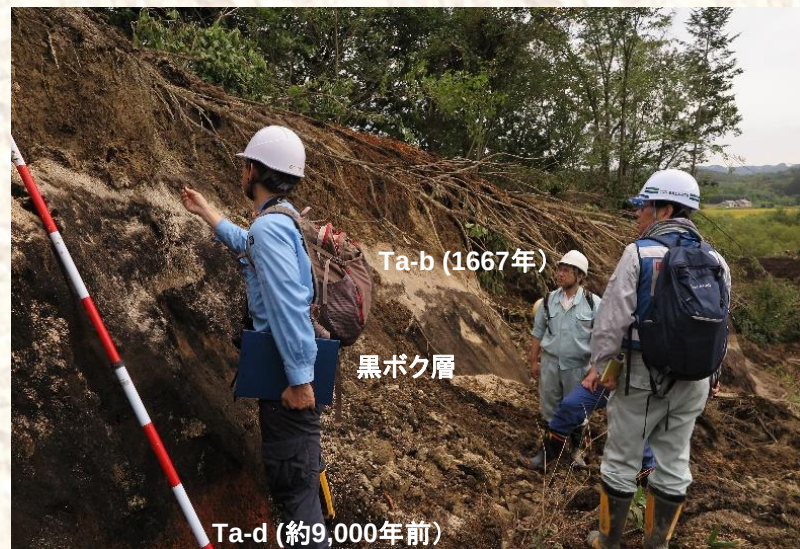
9月7日 国土技術政策総合研究所、土木研究所つくば中央研究所、北海道大学と合流後、現地調査



厚真町吉野地区における空中写真の被災前と被災後の比較



被災直後の吉野地区の表層崩壊と北海道道235号上幌内早来停車場線と家屋の被災状況



国総研、つくば土研、北大との合同調査の様子
(厚真町朝日地区)



現地調査後の北海道開発局への報告の様子(厚真町役場)

・調査時の現地状況

厚真町朝日地区、吉野地区では北海道道235号上幌内早来停車場線の道路が斜面から崩落した土砂で埋積したほか、家屋の倒壊が発生していた。北海道による道路の土砂撤去作業や自衛隊・警察による倒壊家屋からの救出作業が行われていた。

・調査結果と助言

現地踏査した結果、吉野地区周辺の斜面災害形態は表層崩壊であり、新第三紀中新世の基盤岩に重なる、約9,000年前からの樽前火山の火山灰と黒ボク層の未固結層が崩落したことを北海道開発局に報告した。今後も、余震や降雨により斜面の落ち残りの崩土が崩落する恐れがあるため、救助や復旧作業にあたり留意することを助言した。